

中部財界セミナー詳細

中部財界セミナーでは、ユニ・チャーム代表取締役社長執行役員の高原豪久氏の基調講演「新たな世界へ挑み続ける力が未来を拓く」が実施されています。

「共振の経営」について、ユニ・チャーム代表取締役社長執行役員の高原豪久氏は、「共振の経営」として全社員が常に携わり、上司と部下の対話における共通言語を構築し、現場が一方通行でなく、振り子のよう



「原因自分論」。失敗の原因を環境や他人に見出す経営の在り方を見出す経営の在り方

基調講演 新たな世界へ挑み続ける力が未来を拓く

ユニ・チャーム代表取締役社長執行役員 高原豪久氏

「指示待ち」が常態化してしまっています。次に取り組んだのが、戦略つくりの標準的企業が9割のシェアを握っていました。その境変化、数値目標、必

「共振の経営」が目標です。AIは観察力を飛躍的に高めますが、最後に決め行動し、結果をフィードバックするのは人間です。アナログな対話とデジタルの速さを組み合わせ、人間中心の経営を進化させていく必要があります。

講演 進化するロボット技術と人類の未来

千葉工業大学未来ロボット技術研究センター・furo所長 古田貴之氏

私たちはロボットももてはありませぬ。まず仮想空間で徹底的に鍛えます。私たちが「小さな地球」と呼ぶシミュレーション環境の中で、数千台の四脚ロボットを同時に学習させました。数万回に及ぶ試行錯誤を、計算時間にしてわずか数時間で終わらせています。



この身体の賢さは、いきなり現場で学ばせたい。福島第一原発では、建物内で階段を移動でき、100件以上の作業を担っています。失敗の責任を引き受け、現場の恐怖心を取り除き、「試している」空気をつくる。その覚悟がなければ、自動化は前に進みません。

特別講演 経営者のための休養学

日本リカバリー協会代表理事 片野秀樹氏



では、なぜ今これほどまでに休養が重要なのでしょう。従業員一人あたりの年間健康関連コストは約72・5万円とされ、

目的は、休むことそのものではなく、生産性を低下させる「プレッシャー」による損失を減らすことです。これを回復させるには、環境が重要です。軽い運動、胃腸を休め、環境転換などを組み合わせ、自分に合った回復方法を設計する。休養は、善悪や個人任せではなく、責任感を持って取り組むべきです。

創造のその先へ。

葵建設株式会社

AOI CONSTRUCTION CO.,LTD.

なごやか亭春採店 瀬白波除染

代表取締役社長 大水 賢一

T:085-0815 勤務市村木町15番17号
TEL:(0154)41-4111 FAX:(0154)42-1436
URL:https://www.aoi-kensetu.co.jp

新生活スタートは北洋銀行で!

新生活ほくようデビューキャンペーン

最大 **10,000円** 相当 **プレゼント!**

キャンペーン期間:2026年2月2日[月]~2026年4月30日[木]

口座を作る 北洋銀行アプリでのお手続きで **もれなく1,500円**

など、期間中、対象のお取引をいただくと **もれなく現金プレゼント!**

さらに 同時開催中のプレゼント&キャッシュバック! 特設サイトはこちら!

詳しくは店頭または 当行ホームページ特設サイトでご確認ください。

Make the HOKKAIDO Way **北洋銀行**

日本生産性本部は1月23日、「春闘セミナー2026」の第1部を都内で開催した。セミナーの後半では、「春季労使交渉に向けた主要産別の取り組み」と題したパネルディスカッションが行われた。立正大学経済学部教授の戎野淑子氏が進行役を務め、9産別のリーダーが春闘方針を語った。



戎野淑子・立正大学教授

注目が集まる 2026春闘

戎野氏は「労組に入っている人もそうでない人も、春闘を注目し、参考にしてほしい。要求と回答だけではなく、中長期的に賃金が引き上がったいく組の取り組みが求められる。労組の経営参加は日本の労使関係の大きな特徴であり強みで、長期的に産業が発展していくための議論が重要だ。賃上げが続いていても不安感を抱いている労働者が多い現状を直視するべきで、不安を払拭し、将来性を感ぜられるような春闘になることを期待している」と話した。

パネルディスカッションは2部構成で行われ、第一部はU.A.センセン会長の永島智子氏、自動車連合会長の金子晃浩氏、電機連合会



永島智子・U.A.センセン会長

1%程度の実質賃金上昇定着

「最低賃金を持続的に引き上げ、働く者全ての賃金底上げをはかる」では、企業内最低賃金1500円へ計画的に引き上げ、賃金格差是正と構造的賃上げを推進する。

組合員の生活不安を払拭

「組合員の生活不安を払拭を共有し、生産性向上の取り組みや、それを支える人への投資をいかに実現させるべきか、今年度は例年にも増して真摯な議論を重ねることが求められる」と決意を示している。

長神保政史氏、JAM会長の安河内賢弘氏、基幹労連中央執行委員長津村正男氏がパネリストとして登壇した。



神保政史・電機連合会長

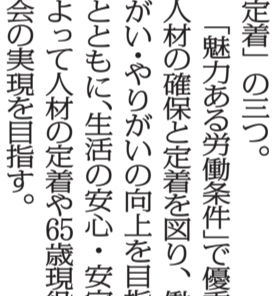
余白時間設定で創造性高める

「創造性を高める働き方改革の導入や環境整備」から「創造性を高める働き方改革の導入や環境整備」に

賃金水準にこだわった要求

JAMの要求の「賃金水準にこだわった要求を追求する」で、ミニマム基準や標準賃金を重視し、賃金水準の引き上げ、「雇用形態による格差是正に向けて、「中小加盟組合はめざすべき水準賃金へ」

また、「賃金構造維持分を確保した上で、所定内賃金の引き上げを中心に1万7000円以上の人への投資を要求する」とし、格差の拡大に歯止めをかける実質生活の維持・向上と、あるべき水準との乖離の是正を目指す。



津村正男・基幹労連中央執行委員長

魅力ある労働条件で人材確保

「魅力ある労働条件で優秀な人材の確保と定着を図り、働きがい・やりの向上を目指す」

底支えへ最低保障賃金協定化

「底支えへ最低保障賃金協定化」全体で規模間格差を是正

「全組合が創意工夫をもってさらなる収入の向上に最大限取り組み」とした。



堀義行・生保労連中央執行委員長

営業職の実質的収入向上

「営業職の実質的収入向上」に

現場労働者の相対的地位向上

「現場労働者の相対的地位向上」に

（主催）サーティファイコンプライアンス検定委員会
（後援）EY新日本有限責任監査法人 株式会社東洋経済新報社

ビジネスコンプライアンス検定

リーガル エシカル コンプライアンス
(法令+倫理) × 責任 × 行動

第46回公開試験概要

試験日 2026年5月24日(日)
第46回公開試験は初級のみ開催です。
第47回公開試験(初級・上級)は2026年7月12日に開催します。

試験時間 初級 60分
10:00~12:00の間に試験開始

受験料(税込) 初級 6,400円

実施会場 自宅、または所属する企業、教育機関等の団体施設(要:インターネット環境、パソコン等)

申込締切 2026年5月17日(日)

申込方法 Web申込にて受け付けております。
詳細は、以下をご覧ください。
<https://www.sikaku.gr.jp/co/individual/>

サーティファイ団体受験制度

企業・各種法人等の団体が、設置保有する施設において所属する社員・スタッフ等を対象に団体単位で検定を実施する制度のことをいいます。団体受験を行うことにより、種々の優遇制度を受けることが可能となります。

受験人数 一名様より実施が可能です。

試験形式 Webテストまたはマークシートからお選びいただけます。

団体受験制度の活用をお考えの方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。
担当者よりご説明をさせていただきます。

意思決定に自信を与える
コンプライアンスへの深い理解と活用能力を証明

ビジネスコンプライアンス検定 公式Webサイト
ビジネスコンプライアンス検定

株式会社サーティファイ認定試験事務局
〒103-0025東京都中央区日本橋茅場町2-11-8 茅場町駅前ビル
TEL:0120-031-749 / FAX:0120-031-750 / URL:<https://www.sikaku.gr.jp/co/>

北海道特集

三ツ輪運輸

北海道・釧路市に本社を置く三ツ輪運輸は、創業94年を迎える。港湾荷役運送、船舶代理店、倉庫業、通関業、保険業、陸上

運送業を一貫して手がける総合物流企業である。長い年月を通じて同社が一貫して重視してきたのは、「人が無理なく働けているか」という視点だ。

■人・安全・健康が基盤

生産性という効率や数字の話になりがちだが、同社はまず「人が大切だ」と考えている。一貫して示しているのは、安全・衛生・健康を生産性の前提条件として位置づける姿勢である。安全と衛生を最重要事項とし、保健師の常駐や安全衛生管理室の設置など、体制整備を長年積み重ねてきた。

健康経営優良法人2025への認定も、その延長線上にある。制度を確認したところ、すでに多くの項目が日常業務として実践されていたことから申請に至ったという。

女性従業員を対象とした定期的ながん検診の実施に加え、インフルエンザや新型コロナウイルスについては、医療機関と連携し社内で接種を完結できる体制を整えている。社員本人と家族も含めて支える考え方が、会社の基盤に据えられている。

■現場起点の生産性向上
生産性向上の象徴的な取り組みが、倉庫現場へのロボット導入だ。2025年10月、大型パレットから小型パレットへの詰め替え作業を自動化するロボットを導入した。上部カメラとAIで製品形状を認識し、従来は人が担っていた重労働を機械が代行する。

最新技術を入れる事自体が目的ではなく、現場の負担をどれだけ抑えられるかが同社の判断基準だ。

技術導入は人を置き換えるためではなく、作業の質を保ちながら身体的・心理的負担を軽減するための手段として位置づけられている。

■働き方改革と品質
同社では残業ゼロを目指しており、昼休憩1時間を含めた8時間拘束の中で、実質労働時間は7時間としている。8時から16時までの勤務体系により、業務終了後の時間を有効に使いやすく、子育て世代にも配慮した働き方が可能となっている。

また、月4回の週休制を採用し、年間休日はいくつか日となる。2024年からは定年を65歳に延長し、60歳までは賃金100%にするべく検討中。「長く安心して働ける環境が、結果として事故防止や品質の安定につながる」という考え方が、現場に定着している。

■一貫物流と地域との関係
三ツ輪運輸の強みは、輸入貨物を外貨品から内貨品へ切り替える、国内の需要者に届けるまでを一貫して担える事業構造にある。通関、倉庫、輸送を分断せず自社グループで完結できる点が、調整力と安定供給力を支えてきた。

時代の変化とともに扱う貨物は移り変わってきたが、変わらない軸がある。それは、「自分たちの仕事が誰の役に立っているのか」を常に意識する姿勢だ。労働組合との対話を重ねながら職場環境の改善を進めてきた背景にも、その考えがある。

この考え方は、企業内部にとどまらない。地域行事への参加や災害時の支援など、三ツ輪運輸は釧路という地域とともに歩んできた。

人を守ることが、企業を強くする。そうした姿勢を現場で積み重ねてきたことが、同社の歩みを今日、そして明日へとつないでいる。



入社1年目社員対象のフォローアップ研修



約100人が参加した社内ボウリング大会



パレット付け替えを自動化するロボット

海底ケーブル敷設工事、ダム水中部の補修工事、洋上風力発電のためのROV調査など潜水業務から豊かな暮らしを支えます。

人と海の未来に誇る技術力

ゴオテック株式会社

ホームページ

北海電工

街のミライ、技術でトライ。

未来につながる持続可能な営みを、私たちは技術で切り拓いていきます。

株式会社北海電工

本店:札幌市白石区菊水2条1丁目8番21号
支店:旭川・北見・札幌・岩見沢・小樽・釧路・帯広・苫小牧・室蘭・函館
支社:東京 <https://www.hokkaidenko.co.jp/>

(組織名五十音順)

株式会社アイテス
代表取締役社長
山川 誠

株式会社エレパル
代表取締役
藤井 和則

こくみん共済coop
北海道推進本部
本部長
藤盛 敏弘

株式会社高木組
代表取締役社長
中島 直登

株式会社つうけんアクト
代表取締役社長
高丸 敏裕

日本郵便株式会社
北海道支社長
坂東 秀紀

函館どつく株式会社
代表取締役社長
服部 誠

北海道特集

ジェイ・アール北海道バス

北海道の地域交通は、厳しい自然条件の下で成り立ってきた。なかでも路線バスは、雪を例外としない日常を前提に、人々の暮らしを支えている。

冬の住宅街では、数百坪の移動も容易ではない。圧雪の坂道を越え、路線バスは地域の足として往復を重ねてきた。

札幌圏を中心に路線バスを担うジェイ・アール北海道バスは、地域生活圏に密着した路線を運行してきた。冬期運行の負荷や人材確保、需要構造の変化など環境が動く中でも、「安全最優先」を判断の起点に据え、持続的な地域交通の維持に取り組んでいる。

■安全最優先を貫く冬の運行
北海道の路線バスにとって雪は特別ではない。圧雪や凍結が数カ月続き、同じ路線でも路面状況は日々変化する。坂道発進や制動距離の判断、乗客の転倒防止など、乗務員に求められる技能と判断力は高い。
同社は安全を優先する姿勢を一貫してきた。無理なタイヤ設定や人員配置は事故リスクを高め、現場の疲弊にもつながる。走らせることを目的化せず、無理をしない運行を心がけることが地



雪上での冬道訓練。安全最優先の運行を支える技能を磨く

安全最優先を貫く地域交通

域の信頼につながるという考え方が根づいている。

■人材育成と定着
乗務員不足は全国共通の課題だが、北海道では影響が大きい。雪道対応は経験への依存度が高く、欠員はそのまま運行制約となる。

同社では、採用後に「先生役」の社員がマンツーマンで指導し、一定水準に達してから単独乗務とする体制を整えてきた。高校新卒の採用にも取り組み、未経験者も時間をかけて戦力化している。

近年は東京・大阪の就職イベントに継続参加し、移住採用にも注力。短期補充ではなく、長く働ける人材づくりが基本姿勢だ。

■行政連携とデジタル化
人材確保は自社努力だけでは難しい。同社は自治体と連携した採用にも取り組む。札幌市や江別市と協力し、外国人材受け入れの検討や地域おこし協力隊制度の活用を進めている。

あわせて、生産性向上に向けたデジタル化も積み重ねてきた。約10年前から乗降データを活用した需要分析やタイヤ作成支援、GPSによる位置管理を



出庫前の車両点検。日々の確認が安全を支える



乗務員の休養環境整備も安全確保の基盤となっている

導入し、業務に活用している。2019年本格運用のスマートフォンアプリ「バススタ/ JHB」では、現在位置や遅延情報を提供。車内自動放送のAI音声化、1日乗車券のスマホ化、路線図・時刻表のWeb提供など、現場負担軽減と情報提供を両立している。効率化はコスト削減ではなく、安全を守る余力を生む手段と位置づける。

■地域と歩む交通基盤
札幌市では、地下鉄駅併設のバスターミナルを軸に、乗継割引を含む地下鉄とバスの交通体系が築かれてきた。国鉄バス時代から続く連携は市民の足として定着している。また、江別市立病院や札幌市手稲区のリハビリ病院への乗り入れなど、地域中核施設との連携も進めてきた。患者の利便性向上に加え、乗務員の労働環境改善にもつながっている。

これらの根底にあるのが、創業以来共有する価値観「SMART」だ。Safety(安全)、Mind(思いやり)、All(総力結集)、Region(地域貢献)、Try(挑戦)。
今後も「安全最優先」を揺るがすことなく、実務に根差した取り組みを重ね、選ばれ続ける交通事業者として北海道の暮らしを支えていく。

「環境」を、コストから「利益」へ。
エコニクスがご提案します。

SDGs TNFD
ネイチャーポジティブ
カーボンオフセット
サーキュラーエコノミー
サステナビリティ



札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目2-14
Website URL: https://econixe.co.jp/



地域の豊かさを未来へつなぐ、ソリューションサポート
北電興業は多様な専門性を生かして、お客さまのビジネスの発展をお手伝いします。

- 不動産事業**
省エネで快適な賃貸マンションや、ZEB(Net Zero Energy Building)などの環境性能に優れた賃貸オフィス・店舗の開発、時間貸・月極駐車場などの提供を通じて、安心して快適な生活をサポートします。
- 資源循環型土木緑化**
建設コスト低減と循環型社会の創造を可能にする石炭灰の資源化や、周辺環境に配慮した緑化事業などで、持続可能な社会の実現へ向けお客さまの取り組みに貢献しています。
- リース事業**
電気自動車(充電器などの周辺設備を含む)をはじめとする一般車から高所作業車など幅広い車種を法人のお客さま向けにご提案いたします。太陽光発電などのエネルギー関連設備のリースもお取り扱いしています。
- 省エネルギーサービス**
ビルや工場の省エネルギー・省コスト実現に向け、省エネ診断や設備リニューアルの設計・工事支援、EMS(エネルギー管理システム)導入、設備運用改善の提案など、一貫した省エネルギーサービスをご提供します。
- 電力インフラ活用事業**
安全・安心して暮らせる街づくりのための電柱・地上機器を活用した看板や防犯カメラ設置など、さまざまなツールで地域社会との信頼関係構築、暮らしの利便性向上、地域の賑わい創出のためのお手伝いをしています。

ほくてんグループ

北電興業株式会社
取締役社長 氏家 和彦

本店:札幌市中央区北1条東3丁目 TEL(011)261-1476(代)
●不動産事業本部 ●広告部 ●商事部
●土木環境部 ●建築部 ●燃料部 ●資源事業部
事業所:苫東・泊 営業所:旭川・帯広・函館
http://www.hokudenkogyo.co.jp/

(組織名五十音順)

株式会社橋本川島コーポレーション
代表取締役社長 橋本 毅

株式会社保工北海道
代表取締役社長 佐藤 文明

北海道相互電設株式会社
代表取締役 東堂 賢功

北海道タツラ電気株式会社
代表取締役 木村 賢史

北海道中央バス株式会社
代表取締役社長 二階堂 恭仁

北海道電気技術サービス株式会社
代表取締役 向井 潔

公益財団法人北海道農業公社
理事長 小田原 輝和

「外国人新卒採用における現状と成功の秘訣」とは

第100期人事部長 クラブ1月例会

日本生産性本部は1月21日、第100期「人事部長クラブ」の1月例会を都内で開催した。当日は「外国人新卒採用における現状と成功の秘訣」をテーマに、ASIA to JAPAN代表取締役の三瓶雅人氏が講演した。

同氏は「日本語が話せる海外大学生」に特化し、採用から活躍までの包括的な支援を国内企業へ展開しており、これまで350社1500人以上の日本就職を支援している。

三瓶氏は、企業側の外国籍社員採用に対する期待として、日本語レベルの高い学生に来てほしい、英語・中国語・ヒンディー語など複数言語スキルがあってもほしい、長期で働いてほしいと思っていることを挙げたうえで、今後の日本において外国籍社員の採用なしに現状の採用基準を満たしていくことは不可能

定着へ入社後もサポートを

だと主張した。外国籍社員採用の現状については、現場の目的理解や納得が不足しやすく、その結果として、ミスマッチや早期離職のリスクが高いことや経営層・人事・面接官の間の情報共有が不足しており、定着状況の確認が形だけになりやすいことなどを挙げた。

ASIA to JAPAN 三瓶代表取締役が講演

また、外国籍社員採用の不採用理由の80%は日本語力不足だが、JLPT(日本語能力試験)の合格者でも日本語で面接できない学生が多いことから、日本語力を測定するには、いつでも受検でき、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を全てチェックできる「CEFR」(ヨーロッパ言語共通参照枠)を推奨すると述べた。

さらに、外国籍社員採用を成功させるには、経営者の不退職の決意を社内に浸透させること

今後1年の景気「現在と同水準」46%

関西生産性本部 KPC定期調査

関西生産性本部は2月4日、第38回KPC

定期調査の結果を公表した。調査対象は同本部の労使学の運営幹部242人で、有効回答は180人。概要は以下の通り。

今後1年の日本の景気の推移については、「現在と同水準になる」が46%と最も多く、「改善する」は42%、「悪化する」は11%だった。現在の企業経営における重点課題(五つ以内選択)については、「人材の育成」が62%

で5年連続1位となった。以下、「DXの推進」(54%)、「利益の維持・拡大方策」(52%)、「新規事業の推進・強化」(39%)、「賃上げの実現」(33%)と続いている。

今後の日本にとっての有望海外投資先(3項目選択)では、インドが69%で5年連続1位。以下、「米国」42%、「ベトナム」37%と続いている。「ベトナム」に代わり、今回は「米

経済情勢懇話会

「世界経済、緩やかに成長」 金融市場から見る社会、経済

日本生産性本部は1月20日、第77期「経済情勢懇話会」の1月例会を都内で開催(オンライン併用)した。大槻氏は、今年の世界経済は米国を中心に緩やかに成長することや、対米直接投資の拡大、トランプ口座による

「社員エンゲージメントを高めるための取り組み」(55%)、「動的な人材ポートフォリオ計画の策定と運用」(47%)、「経営戦略と人材戦略を連動させるための取り組み」(44%)、「リスキル・学び直しのための取り組み」(33%)の順で多かった。経営では「動的な人材ポートフォリオ計画の策定と運用」を61%が回答し、1位となっている。

これからの生産性運動の重点項目については、「多様な人材が活躍できる職場環境づくり」が49%で1位、「DX推進による社会の変革」が43%で2位、「ホワイトカラーの生産性向上」が39%で3位、「中堅社員の活性化」が34%で4位だった。

調査結果の全文は関西生産性本部のホームページに掲載している。問い合わせは同本部、電話06(6444)6461まで。

大槻氏は最後に、「日本のインフレと金利は明らかにこれまでとは異なるフェーズに入った。財政発散リスクを市場に意識させないためには、PBバランスの維持向上とともに、国債の買い手の拡大や財政に関する丁寧なコミュニケーション」等により金利を抑制しつつ、1~2%弱程度のインフレを続けることが重要な局面であり、この1、2年が正念場だ」と述べた。

北労生は、これからも生産性運動三原則の今日的意義を再確認し、その運動の啓発・実践に向けて邁進していきます。

北海道地方労働組合生産性会議 (組織名五十音順)

<p>執行委員長 高橋 英雄</p> <p>北海道中央バス労働組合</p>	<p>組合長 高野 聖久</p> <p>日本製鋼所室蘭労働組合</p>	<p>執行委員長 鳴原 満</p> <p>日本郵政グループ労働組合 北海道地方本部</p>	<p>組合長 佐藤 猛</p> <p>日本製鉄室蘭労働組合</p>	<p>執行委員長 田中 敬章</p> <p>トヨタ自動車北海道労働組合</p>	<p>執行委員長 河野 憲治</p> <p>全日通労働組合 札幌支部</p>	<p>支部長 佐藤 巨</p> <p>紙八連合 王子製紙新労働組合苦小牧支部</p>	<p>執行委員長 萩原 光典</p> <p>NTT労働組合 北海道総支部</p>
<p>各議長 外役員一同</p>	<p>函館地区会議 室蘭地区会議 旭川地区会議 苦小牧地区会議</p>	<p>釧路地区会議 北見地区会議 十勝地区会議</p>	<p>北海道地方労働組合生産性会議 議長 萩原 光典</p>	<p>連合北海道 会長 須間 等</p> <p>労働相談ダイヤル 120-154-052</p>	<p>支部長 奈良 靖</p> <p>Uアゼンセン 北海道支部</p>	<p>中央執行委員長 中川 憲一</p> <p>北海道旅客鉄道労働組合</p>	<p>北海道電力総連会長 北海道電力労働組合 本部執行委員長 山下 則和</p>

